

高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

施設名	高松市香南楽湯		
指定管理者	株式会社 創裕	施設所管所属名	観光交流課
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで(5年間)	公募・非公募の別	公募
所在地	高松市香南町横井997番地2		・施設の運営業務・維持管理 温泉(石の風呂・木の風呂)、売店、ゲームコーナー レストラン「楽湯旬彩」、軽食コーナー「楽湯食処」 ボディケアこころ ・各種イベントの実施 菖蒲湯・柚子湯等のイベント湯、回数券セール 似顔絵展、敬老イベントなど各種歳時記イベントなど
施設の概要	【施設】 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階建 【従業員】 正社員8名 パート17名 【開館時間】 10:0～23:00 【定休日】 毎月第3水曜日は休館(祝日の場合は翌木曜日) 【駐車場】 香南楽湯 67台 道の駅 34台		

	項目名	平成28年度	平成27年度	項目名	平成28年度	平成27年度
利用状況等	入浴	156,445 人	151,384 人	ボディケア	3,377 人	3,107 人
	レストラン	18,067 人	18,402 人			
	売店	22,124 人	22,475 人			
収支状況等	指定管理料	5,800 千円	5,700 千円	収入実績(指定管理料含む)	157,032 千円	159,606 千円
	精算残額(市へ返納)	0 千円	0 千円	支出実績	157,768 千円	160,472 千円

評価基準	評価項目		指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
	①	②		
1 基本事項	①法令上必要な知識等、安全対策、危機管理		安心安全な施設を目指し、関係法令に基づき施設運営、維持管理を行いました。定期的に会議を開催し、従業員の指導も行いました。個人情報の取り扱いはありません。	B
	②個人情報の保護、情報公開、環境への配慮			
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性		地元行事への協力、小学生によるスポーツ少年団への協賛など、地域のつながりを大切にしています。公平性のあるサービス提供を心がけ営業活動を実施しています。	A
	②平等な利用の確保			
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策		四国新聞、ホームページ、館内ポスター、じゃらん他の雑誌等の媒体での記事掲載が、大きな誘客効果をもたらしているほか、道の駅という特色から、県内外から幅広く来店されています。クレーム、調整事項等には、迅速な対応に努めております。	B
	②広報・PR対策			
	③企画事業・自主事業			
	④市・関係団体・地域等との連携			
	⑤サービス向上の取組			
	⑥相談・苦情への対応			
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等		退職者の補充が十分に行えず厳しい店舗運営となりましたが、シフトの見直し、従業員間の協力により、施設利用者への影響はありませんでした。定期的な会議の開催により、就業規則の遵守を徹底できたほか、サービス能力向上等のための勉強会を実施しています。	B
	②教育・研修			
	③就業規則等の遵守			
	④施設運営の健全性の確保			
	⑤損害保険等			
	⑥収支計画と執行管理			
5 管理に係る経費の縮減	①収入の確保・適正な人件費		電気料金削減のためLEDを全館導入、水道料金削減のため節水コマによる節水システムを導入し、効果を得ています。また経年劣化に伴い、修繕も多く発生していますが、従業員で対応できる修繕については全て対応しています。	B
	②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点			
	③経営の効率化			
	④合理的な会計制度			

総合評価コメント	総合評価
各種歳時記イベントやセールを企画・実施するなど、利用者数・収入増を図る各種取組を行い、昨年度より利用者数が大きく上回ったことは評価できる。ホームページや定期的な新聞広告などによる広報活動を実施する等の努力が見られ、効果が数字として表れているので、継続されたい。また、道の駅に併設された温浴施設ということから、市内外の利用者から支持を受けており、その魅力をより多くの人にアピールするとともに、香南楽湯ならではの新たな商品開発等、物販にもより力を入れていきたい。 全体として、民間の活力を公の施設に利用するという指定管理者制度の主たる目的は達成されているが、前年度に引き続き、収支が赤字となっていることから、更なる経営の効率化とともに、市と指定管理者の役割分担について今後とも整理が必要な施設である。	B